

式辞

保護者の皆様、ご子息・ご令嬢の卒業、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

通常であれば、多くのご来賓のご臨席を賜り、中学校第九回卒業式を一同に挙行するところでありましたが、コロナ禍ゆえの対応、感染対策を講じての実施とさせていただくこととなりました。ご理解をいただければ幸いです。

本日、卒業式を迎えられることは、卒業生・保護者はもとより、我々教職員にとっても、この上もない喜びとするところであります。また、保護者の皆様、晴れがましい我が子の姿を目の当たりにされ、感慨もひとしおかと存じます。

さて、新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、社会生活のみならず学校生活にも大きな影響を与えました。中学時代における一生の思い出となる、多くの学校行事や研修・部活動の大会などがことごとく中止・延期となりました。さぞや無念であったことと思います。しかし、そのような中でも自然は遅しく、寒さの厳しかった今年の冬を乗り越え、ようやく春の兆しを見せ始めました。三年前、皆さんの入学を満開で迎えた本校敷地内八八本の桜も、しっかりとした蕾を節々につけ、生命の息吹を感じさせています。その様子は力強く、まさに今日の佳き日を祝福しているかのようです。

さて皆さんは義務教育を終え、いよいよ高等学校へ進学してゆきます。自己責任・計画的な努力が求められます。ぜひ「生涯を通して学ぶ習慣」をここで身に付けてほしいと願います。皆さんはこれから進学・就職と新しい環境に進んでいきますが、その将来は決して楽なものではありません。日本が世界に誇る経済力・工業生産力も、アジア諸国をはじめとする国々に追われる立場になっており、諸外国との経済的な対立も深刻化しています。国内の状況も高齢化・情報化・不景気・天災など、多くの突然に発生する問題を抱え、社会の仕組みや変化はますます複雑になっていくでしょう。皆さんはやがてどのような場所においても解決を迫られる、このようなあるいは予測もしなかった困難な問題に直面することと思います。そこでは多くの情報をもとにして必要なものを選択し、判断を下し、行動しなければならない場に、何度か出会わざるをえなくなります。その場で正しく適切な判断を下すためには、可能な限りの判断のための経験や材料や知識を身に付けていなければなりません。そのためにはいつでも可能な限り何かを身に付けていこうとする、すなわち生涯にわたって学び続ける気持ちと態度が必要になります。

これから更なる学びの場へ旅立つ皆さん、論語にある【子、四つを以て教う。文、行、忠、信。】を大切にしていきたいと思います。『文』書物を読んで知識を得ること。『行』学問から得た知識を実践行動すること。『忠』ま心を尽くすこと。『信』約束ごとを守って、信頼を得ること。ぜひ教えを今後に生かしてください。

終わりにになりましたが、三年間にわたって卒業生を温かく見守り、本校の教育に多大なご支援を賜りました関係者の皆様、並びに本校父母の会・松柏会の皆様に厚く御礼申し上げ、あわせて今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げますとともに、五九名の卒業生一人ひとりの限りない前途に幸多からんことを心より願い、式辞といたします。

二〇二二年三月一九日
二松学舎大学附属柏中学校・高等学校
校長 七五三 和男